

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
 (中間配当 9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社に なります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 (トラストラウンジは除く) みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払 明細発行については、右 の「特別口座の場合」の郵 便物送付先・電話お問い 合わせ先・お取扱店をご 利用ください。	単元未満の買取・買増以外の 株式売買はできません。電子 化前に名義書換を失念して お手元に他人名義の株券が ある場合は至急ご連絡くだ さい。

※未払配当金のお支払のみ、株式会社みずほ銀行全国本支店でも
お取扱いいたします。

公告方法 電子公告 (<http://www.okayaelec.co.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をするこ
 とができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、当社株式への投資の
 魅力を高め、個人株主層のさらなる拡大並びに中長期的に株
 式を保有していただき、より一層のご支援をいただきたく、
 毎年3月末の当社株主名簿に記載された株主様を対象として
 株主優待をいたします。

《優待内容》

100株以上 500株未満 おこめギフト券 2kg
 500株以上 1,000株未満 おこめギフト券 5kg
 1,000株以上 おこめギフト券 10kg



100株以上を **3年以上** 継続保有の株主様には

おこめギフト券
1kg プラス

*3月末において、連続4回以上
 株主名簿に同一株主番号とし
 て、記載されている株主様。



単元未満株式の 買取・買増制度のご案内

単元未満株式（100株未満の株式）については、「単元未満
 株式の買取請求」により、当社に売却することができます。
 また、「単元未満株式の買増請求」により、当社から単元株
 式数（100株）に不足する株式を買増して、100株単位にま
 とめることもできます。「単元未満株式を売却する」、「単元未
 満株式を100株に買増す」という株主様は、口座を開設され
 ているお取引証券会社等にお申し出ください。なお、特別口
 座に登録されている株主様は、特別口座管理機関であるみず
 ほ信託銀行株式会社へお申し出ください。

株主名簿管理人 〒168-8507
 特別口座管理機関 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 (お問い合わせ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 受付時間 9:00～17:00(土日祝日を除く)

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当中間期における世界経済につきましては、米国では住宅市場の改善の動きは継続し、個人消費も回復基調がみられました。一方、欧州諸国は後半から一部経済指標に回復の兆しが見えるようになりましたが、個人消費や設備投資は低迷し、中国においても経済成長の減速傾向が強まりました。

一方、国内においては、円高是正や経済対策の効果等により、企業収益や個人消費は緩やかな改善傾向が見られておりますが、先行きの不透明性への懸念から、企業の設備投資等の本格的な回復にはまだ時間を要するものと想定されます。

このような経済環境の中、当社グループは本年4月に機構改革を行い、社内カンパニーとして国内事業を中心とする国内事業カンパニーと、海外を中心とする国際事業カンパニーに分けて事業展開を進めておりますが、売上、利益面で徐々にその効果が見え始めております。

国内では、全体としては中国や欧州諸国向けの低迷の影響はまだ大きく受けておりますが、環境エネルギー分野の部品については、強力に市場開拓ならびに提案活動を進め、太陽光・風力発電のパワーコンディショナー向けのノイズ・サージ関連部品や屋外LED照明用電源のサージ関連部品などの新規分野については従来以上の成果を上げております。

また、海外においては、主要ポストへの幹部職員の配置により、従来以上に細部にわたる市場調査や販売ルート強化が進み、前年度下期に比して売上が伸張しました。医療機器業界への販売も堅調に推移し、また、今年は特に猛暑の影響による、エアコン用部品需要が売上増加に大きく貢献しました。

また、コスト面につきましては継続的に人件費・原材料費等の低減に努めておりますが、中国の工場では省人化ラインの増設を継続するとともに、間接業務の合理化を積極的に進めております。そして、中国に比べて人件費の低廉なスリランカ工場では、ノイズ関連部門の製造担当者の能力向上を図りながら、製造品種拡大と歩留まりの向上を進めた結果、生産数量も増加しております。

さらに、営業面におきましては、国内・海外それぞれにマーケティング機能を強化するとともに、営業担当者と技術担当者の連携を強化し、タイムリーなユーザー対応を図ることができる体制作りを進めております。

一方、TPR株式会社と合併で設立した「TOCキャパシタ株式会社」の事業につきましては、少量ラインを構築しサンプル品出荷を始めており、本格的な営業活動に入っております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

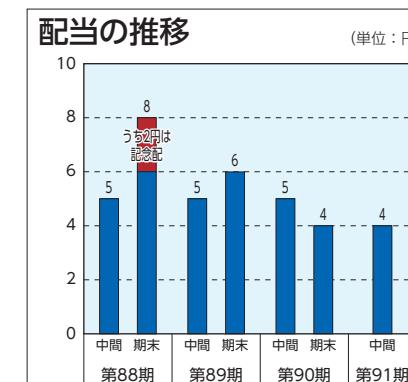
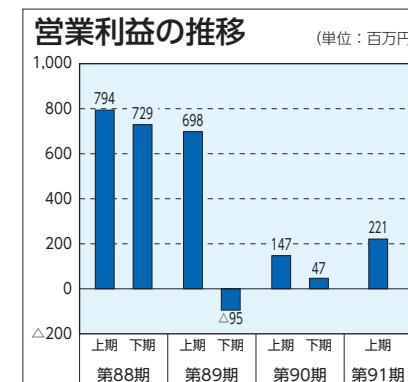
平成25年12月



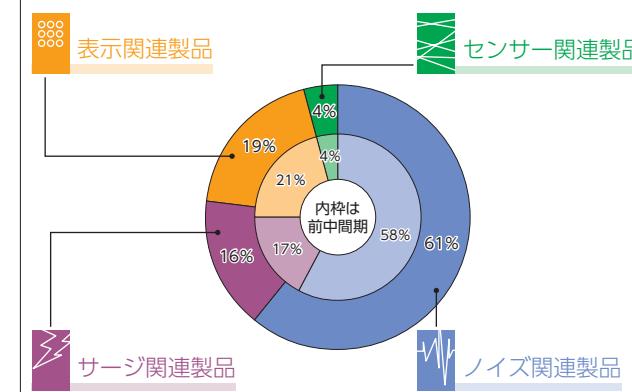
代表取締役社長
最高経営責任者 **山岸久芳**

中間決算ハイライト

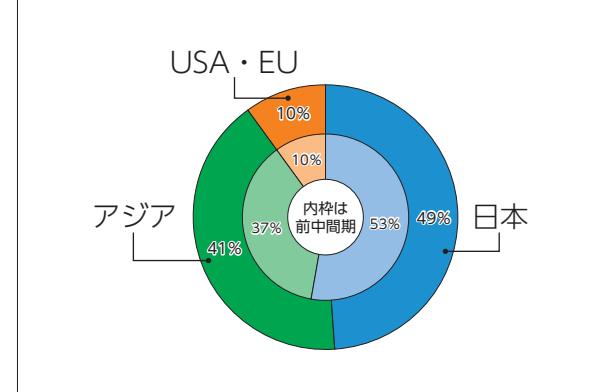
売上高	65億65百万円	(前年同期比)	115%
営業利益	2億21百万円	(前年同期比)	150%
純利益	1億68百万円	(前年同期比)	169%



部門別売上高構成比率



地域別売上高構成比率



ノイズ関連製品

太陽光発電・風力発電等に使用されるパワーコンディショナー向けの部品が伸張しました。

また、猛暑の影響からエアコン向けの部品も売上は順調に推移しました。

工作機械関連は一部のメーカーを除いて伸びが見られませんが、電気自動車の急速充電器関連の部品需要が、今後期待されます。



サージ関連製品

産業機器向けについては伸びがありませんが、ノイズ関連製品と同様に、エアコン向けの部品が好調に推移しました。

また、太陽光発電・風力発電等に使用されるパワーコンディショナー向けやLED表示灯の電源部分に使用される部品が伸張し、セキュリティ関連製品の部品も増加しました。



表示関連製品

国内ではLED分野に特化しており、エレベーター・エスカレーター関連は引き続き受注をいただいております。新規開発中の製品についても、お客様より関心をいただいております。

海外、特に米国では個人向け医療機器用LCD表示器が継続的に成果が出ております。



センサー関連製品

産業機器で生産設備用の部品については前年度より上向き傾向にあります。また、時計の時刻補正用センサーは堅調に推移しております。

今後はセキュリティ関連製品の部品にも注力してまいります。



● OKAYAニュース

◆タイ(バンコク)に現地法人を設立し、さらなるグローバル化を推進

平成25年4月1日、タイ(バンコク)の駐在員事務所を現地法人化し、「オカヤエレクトリック タイランド」を設立しました。

タイに工場等を持つお客様には、従来シンガポールの現地法人「オカヤエレクトリック シンガポール」がご用命を承っておりますが、今後はタイで直接販売対応が出来るようになりました。

この結果、当社の海外販売拠点は従来のアメリカ・香港・シンガポールにタイが加わり、駐在員事務所のあるドイツ・深圳・上海・台湾と合わせて、グローバル化がさらに進みました。



【同社の入居するビル】

◆ECO関連部品の販売が好調に推移

本年度上期は、太陽光発電・風力発電に使用されるパワーコンディショナー向けやLED照明の電源向け部品などの販売が従来以上に伸張しました。

世の中の様々な場面でECOが叫ばれているなか、OKAYAの製品がクリーンエネルギーの輩出に大きな役割を果たしています。今後もECO関連製品向け部品の技術を強化し、お客様にさらに信頼される製品開発を進めてまいります。



【ECO関連製品】

◆電気二重層キャパシタが展示会で大きな反響

7月17日から19日にかけて東京ビッグサイトで「テクノフロンティアJAPAN」2013が開催され、当社もそれぞれのセグメントを持って出展しました。

特に電気二重層キャパシタは展示会場でも多くのお客様から関心を持っていただき、現在本格的なサンプル出荷を進めております。当社はエネルギー分野として、創エネ・蓄エネ・省エネを成長戦略としていますが、電気二重層キャパシタは特に、蓄エネ分野での一大事業としての育成を進めています。現在のサンプル活動でのターゲットは、回生エネルギー用途として建設機械分野、非常誘導灯などのLED照明の電源、無停電電源装置および瞬停装置のバックアップ、EVの蓄電および回生エネルギー、バッテリーアシストなどの分野です。



【テクノフロンティアの当社ブース】



【電気二重層キャパシタの展示品】

